

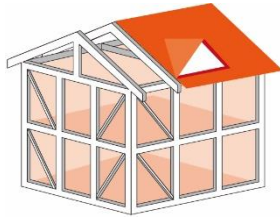
Housing topics 知識編【注文住宅／構造の特徴を知ろう！】

家の主要構造となる部材と工法はさまざまで、それぞれに特徴があります。まず、建物を支える骨組みのことを『構造』、骨組みを造る方法を『工法』といいます。構造は建物を支え、一度造ると簡単に変更ができない建物の部位の中で最も重要な部分。構造体の素材によって、『木造』『プレハブ』『鉄骨コンクリート(RC造)』と大きく3種類に分かれます。それぞれの構造には、どのような特徴があるのでしょうか！簡単にご紹介します。

※宮田工業 & ナガノの家基礎知識参照。

木造軸組工法

土台・柱・梁・筋交いなど、材木で骨組みをつくる工法。在来工法とも呼ばれ施工業者も多く、材料や仕様・費用のバリエーションも豊富です。

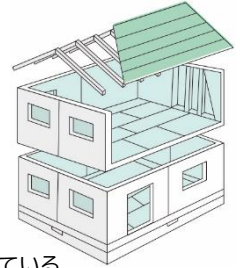


メリット:

- プランの自由度が高く、増改築もしやすい
- 日本の気候風土に適している
- 施工業者が多いため選択肢が広く、建築費の幅も広い

木造枠組壁工法

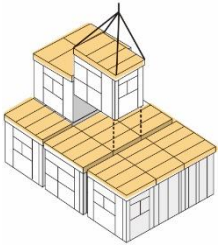
面で躯体を構成する工法。2×4、2×6インチなどの角材で面パネルの枠をつくることから、ツーバイフォー、ツーバイシックスと呼ばれることもある。



メリット:

- 面で躯体を構成するため、耐震性に優れている
- 部材から施工まで規格化されており品質が安定している

プレハブ工法

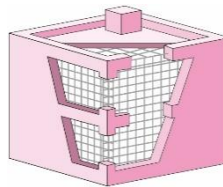


工場で作った躯体を運搬し、現場で組み立てる工法。品質にバラつきがでにくく工期が短いのも特徴。材質は、木質・鉄骨・コンクリートなどさまざま。

メリット:

- 規格に基づいて工場生産するため、職人の熟練度に左右されず品質が安定している
- 工期が短いので仮住まいの負担も小さい

鉄骨コンクリート (RC造)



鉄筋を骨組みとしてコンクリートで構成する工法。耐震性や防火性に優れ、高層ビルでも多用されます。無機質で独特の味わいがあるので、個性を演出するのに向いています。

メリット:

- 設計の自由度が高い
- 耐久性、耐火性、防音性、耐震性がよい

宮田工業の構造 & 工法は、基本「木造枠組壁工法／2×6工法」です！

弊社はツーバイシックス(2×6)工法、木造住宅の「枠組壁工法」をご提案しています。2インチ×6インチ(38mm×140mm)サイズの規格角材を軸に、頑強な「六面体構造」で建物を支え力学的に合理的で最もバランスの良い構造体。地震や台風などの外力に対して強く、また「ファイヤーストップ構造」のため火災時も延焼をくい止め燃えにくいので安心です。弊社がメイン採用した理由やお家づくりのご相談、お気軽にお問い合わせください！



代表取締役社長 宮田 宗一

川中島モデルハウス随時見学会開催中！

ビクトリアン・スタイルをテーマに、モールドリングや巾木、シャンデリアを引き立てるメダリオンなど、細部の装飾にもこだわり、優雅さが薫るモデルハウス。東側に設けたキッチンとダイニング空間は、天井高を変えて開放感を演出。セカンドリビングをイメージして設計された、パノラマウィンドウのある多角形の空間もございます。

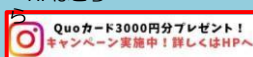
※詳しくは、実際に見学&体感ください！



モデルハウス
案内図
はこちら



←HPはこちら



Instagramはこちら→

